

◆寄附金の使いみち活用事業例を紹介します◆

① 歴史・文化・スポーツ ～市民スポーツの振興と歴史・文化の薫るまちづくり～

●新潟シティマラソンの開催

(事業費 4,000 万円)

市民はもとより県内外から多くのランナーが参加する本市の一大スポーツイベント「新潟シティマラソン」を開催します。



●みなと新潟「光の響演」

(事業費 2,300 万円)



みなとぴあのプロジェクションマッピングやみなと・さがんの光の演出のほか、本市独自の音楽・踊りに光や映像の演出を組み合わせることで、みなとまち新潟の魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大を図ります。

② 福祉 ～健康でいきいきと暮らせるまちづくり～

●健幸になれるまちづくり

(事業費 1,356 万円)

市民の健康寿命の延伸・健幸都市づくり（スマートウェルネスシティ）を推進するため、にいがた未来ポイント事業を実施し、市民の健康意識の向上を図ります。また、特定健診・がん検診受診のインセンティブとして、「とくとくキャンペーン」を実施し、受診率向上を目指します。



●健康寿命の延伸に向けた取組み

(事業費 3,130 万円)

企業・団体等と連携し、市民の健康意識の醸成に向けた啓発を行うとともに、企業等の「健康経営」を支援します。また、地域の健康課題解決に向けた取組みを実施するとともに、コミュニティ協議会などの自主的な健康づくり活動を支援します。

●地域の茶の間の推進

(事業費 1,557 万円)

誰もが気軽に集まり、交流できる場である地域の茶の間を通じ、住民同士が支え合うしくみづくりの構築を図るため、実施団体への助成を行い、地域の茶の間の更なる設置拡大を図ります。



③ 子育て ～未来を担う子どもたちの育成～

●新潟発わくわく教育ファーム

(事業費 3,303 万円)

子どもたちや市民に農業や食の体験を支援し、本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培うとともに、農業を活性化します。農業体験学習プログラム（アグリ・スタディ・プログラム）を中心に、引き続き全小学校での農業体験学習を推進します。さらに、障がいのある人の生きがいづくりと社会参加に資するため、重度の障がいのある人でも実施可能な農業体験プログラム「アグリ・ケア・プログラム」を推進します。



●にいがたっ子

すこやかパスポート

(事業費 43 万円)

妊婦及び中学生以下の子どものいる世帯に、協賛する企業の店舗などで割り引き等の特典が受けられるパスポートを発行し、社会全体で子育てを支援する機運を醸成します。



④ 環境 ～地球環境問題への取組み～

●環境と人にやさしい農業の促進 (事業費 5,400 万円)

都市と農村が共存できる持続可能な農業を推進するため、化学合成した農薬や肥料の使用を控えるなど環境に対する負荷を軽減させる取組み”環境保全・資源循環型農業”を実践する農業者を支援します。



●地球温暖化対策の推進

(事業費 1,053 万円)

環境モデル都市として低炭素社会を構築するため、家庭の省エネ支援などを通して市域で排出されるCO₂の削減を推進します。

市の事務事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に向け、公共施設の省エネ診断を行うとともに、計画的かつ効率的なカーボン・マネジメント体制の強化を図ります。

●自然環境の保全

(事業費 112 万円)

潟エコツアーなど自然観察会・体験会を通じて生物多様性の保全に関わる人材の育成に努めるとともに、ラムサール条約湿地の佐潟をはじめとした市内の里潟の環境保全を進めながら、本市の豊かな自然環境の魅力を発信します。



新潟市の鳥「ハクチョウ」シンボルマーク

⑤新潟ブランド ～全国に誇れる食と花の魅力づくり～

●食文化創造都市の推進

(事業費 3,264 万円)

食と農と文化を融合した創造的まちづくりを推進するため、食文化を通じて地域の魅力を一体的に体験できる新たな観光形態「ガストロノミー（食文化）ツーリズム」の構築を図るほか、新たに本市の食の魅力発信を担う人材を発掘するため、若手料理人への支援を行うことで、みなとまちと田園に育まれた本市の食文化の魅力を市内外に広く発信し、開港 150 周年に向けさらなる交流人口の拡大を図ります。



食文化創造都市 にいがた



●元気な農業応援事業

(事業費 7 億 9,430 万円)

意欲を持った農家に対して園芸作物の導入による経営改善、経営の複合化や規模拡大、農産物の付加価値向上などの取り組みを支援し、農業の持続的発展と効率的で安定した魅力ある農業の担い手を育成します。

●農産物の輸出の促進

(事業費 600 万円)

農産物の販路拡大による生産者の農業経営基盤強化に向けて、生産者と実需者とのマッチングを行うほか、新たに米と酒を中心とした本市の食文化を訴求するプロモーション映像を制作し、流通を促す輸出体制の環境整備を図ります。

⑥ 特色ある区づくり ～分権型政令市の実現を目指した区づくり～

歴史と文化の薫りただよう、
うるおいとにぎわいのまち

中央区

豊かな産業とやすらぎの水辺が調和し、

笑顔と元気があふれる、空港と港があるまち

東区

夢 希望 広がる笑顔

伸びゆく

西区

自然・活力・安らぎに
あふれるまち

住みたくなるまち

北区

豊かな自然 豊かなこころ

西蒲区



緑と調和した
賑わいと安らぎのあるまち

江南区

大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた

郷土愛にあふれる、きいきと暮らせるまち

南区

花と緑に囲まれた 笑顔さきそろう

にぎわいのあるまち

秋葉区

⑦市長におまかせ

【市長におまかせ（ア）】 ●新潟暮らし創造運動の推進

（事業費 1,373 万円）



新潟暮らし創造運動

新潟暮らしの魅力を市内外にPRすることを通して、若者の流出抑制など定住促進を図るとともに、UIJターンなど本市への移住を促進し、新潟暮らし創造運動を推進していきます。

また、市内外の対象者に応じた情報発信機能の充実を図ります。

新潟暮らしは、
HAPPYターン。



【市長におまかせ（イ）】 ●新潟開港 150 周年記念行事

（事業費 2,530 万円）



2019年1月1日に迎える新潟開港150周年を、新しい新潟を切り開くスタートの機会として位置づけ、みなとまちの歴史や文化を継承・発展させてシビックプライド（地域の誇りや愛着）を醸成するとともに、みなとまち新潟の魅力を国内外へ発信し、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。

盛り上げるコア期間は2018年7月から2019年12月までとして、記念式典やシンポジウムなどを行うほか、各官公庁、企業、団体などが行う様々なイベントやハード・ソフト施策を、統一のコンセプトもと国内外へ情報発信していきます。



キックオフ
イベント

海フェスタにいがた



2018年7月14日（土）～7月29日（日）の16日間

新潟港（新潟市、聖籠町）・両津港（佐渡市）

船の誘致や体験乗船、海の総合展・絵画展など

【市長におまかせ（ウ）】 ●その他の事業

市が取り組んでいる事業全般に活用させていただきます。